

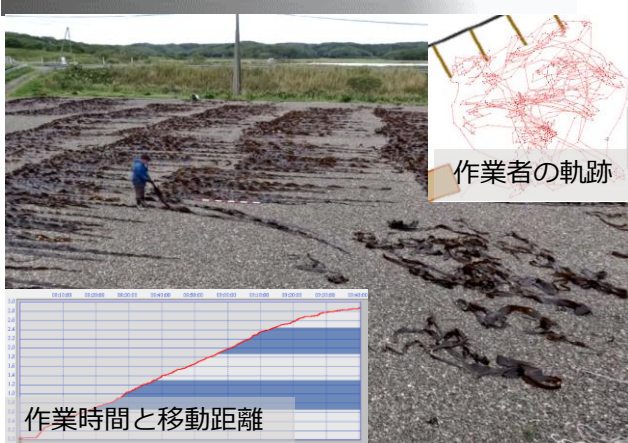
ICTで進める水産業・林業・木材産業の生産性向上

背景

労働力不足に対応し、持続可能な水産業・森林関連産業の実現に向け、北海道の地域特性を反映した省力化技術を開発する。

成果

1 コンブ産業のボトルネック抽出



GPSロガー等を用いた作業実態把握

2 造林作業の省人化技術開発



仮想表示による苗木の植栽予定位置の可視化

3 木材加工の自動化技術の開発



加工・検品自動化のための要素技術開発

期待される効果

次世代につながるコンブ漁業の最適化、スマート林業及びスマート木工場の実現への展開。

分担試験場（協力試験場）：釧路水産試験場、栽培水産試験場、林業試験場、林産試験場、工業試験場（北方建築総合研究所）

協力機関：日高地区水産技術普及指導所、日高地区水産技術普及指導所静内支所、十勝地区水産技術普及指導所、釧路地区水産技術普及指導所、根室地区水産技術普及指導所、散布漁業協同組合、浜中漁業協同組合、落石漁業協同組合、えりも漁業協同組合、北海道水産林務部、北海道森林組合連合会、北海道山林種苗協同組合、株式会社フォテック、株式会社築水キャニコム、松原産業株式会社、日本シードテクノ株式会社